



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

# 飯能ロータリークラブ会報



## “世界へのプレゼントになろう”

RI会長 K.R.ラビンドラン

2570地区ガバナー 高柳 育行

第3グループ  
ガバナー補佐 吉田 譲二

### 「ロータリーの心を実践しよう」

## 第2665例会 2015. 9. 16

—— 基本的教育と識字率向上月間 ——

天候 曇 (NO. 52-12)

会長 間邊元幸 幹事 土屋 崇

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 前島君、森君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 間邊会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・卓話 服部融亮会員

#### 【会長報告】

先週は台風に伴う豪雨で、栃木、茨城、宮城と、各地の河川の氾濫により家が流されたり床上床下浸水と多大な被害が出ました。もっと身近で天災が起きた場合、傍観者では居られないと思います。災害時のための基金をロータリーとして立ち上げる時期ではないでしょうか。会員の皆様、如何でしょう。出来ましたら単年度ではなく多年度にわたり継続事業とする計画案を手順に従い検討したいと思っております。

#### 【幹事報告】

◎例会変更のお知らせ

◇新所沢RC

- ・10/27(火) 振替休会 24・25日  
所沢市民フェスティバル参加
- ・11/3(火) 例会取消 (法定休日)
- ・11/10(火) 振替休会 8・9日 親睦旅行

#### 【委員会報告】

◎会員増強委員会 雨間君

9/30 意見交換会のためテーマと席順を配付しました。よろしくお願ひします。

◎雑誌委員会 福島君

『友』9月号。横組P14、創立当時のメニュー再現、男子厨房に入ろう例会等、工夫された例会の食事エピソード。当会は毎回豪華、どれを見ても引けを取らないと思ひました。P34、SNSを使った親睦。縦組P13、「驚異の会員

増強」高崎RCは9か月で37人。素晴らしいです。P17、渋沢栄一と富岡製糸場の記事に「国家社会の利益を優先する博施濟衆(はくしさいしゅう)の考えを実践」とあります。漢方の師匠から頂いた言葉を屋号「博濟」を付けた経緯があり、びっくり、また、嬉しく思ひました。

#### 【出席報告】

伊澤出席委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	50名	87.72%	96.49%

#### 【M U】

9/10 (入間南) 沢辺君

9/12 (地区) 森君、間邊君

#### 【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・飯信ゴルフで優勝しました。同伴の矢島(巖)さん、中里(忠)さん、杉田さんにはお世話になりました。又、2次会で松下支店長、吉田(行)さん、本橋さん、並びに同伴者に大変ご馳走になり誠に有難うございました。服部さん、本日卓話よろしくお願ひします。 新井君

・4人目の孫が生まれました。 福島君

・つたない話で申し訳ありませんが、よろしくお願ひ致します。 服部君

・早退 大野(康)君、石井君、半田君、土屋(良)君  
本日計12,000円、累計額206,022円。

◎30日例会当番は本橋会員、松下会員です。

#### 【卓話】

講師紹介 半田(忠)プログラム委員長  
本業とは別に、世界を目指すキッズ&ユース年代へのスポーツ育成・支援をするという

事で、飯能インターナショナル・スポーツアカデミーを立ち上げ、会長をされています。

## 社会奉仕のひとつとして

### 飯能RC 服部融亮会員

この団体を創ったきっかけは、本年2月、1つ上の先輩で幼馴染みの木下聡一郎氏とたまたま寿司屋で隣り合わせになり、再会を喜びながらいろんな話をしていました。その時話題に出たのが「消滅可能性都市」。私も飯能に対する思いはたくさん持っており、観音寺、はんのう幼稚園も地域に根付くように活動しているわけですが、木下氏も飯能に対する強い思いがあり「何とかしなければ」と話しておりました。JCの時にスポーツを通したまちづくりを考えた事があり、木下氏もスポーツに関する仕事をされていた。その時思ったのは、平泳ぎで岩崎恭子さんが優勝し、日本人全員が喜んだ時のこと。そんな人が飯能から出てくれればみんな喜べるし、そういう選手の育ったところに訪ねてくる人もいらっしやる。飯能も盛り上がるのではないかな…そして7月には一般社団法人の認可を頂き、飯能日高テレビ、文化新聞に記事を出し、体験レッスン等もやり人に来て頂けるようになりました。サッカーのバスも作らせて頂き、少し賑やかにさせて頂くかなと思っております。

〔映像併用〕文武両道に優れた児童は5才位まで出来る。それまでにいろいろな機会を与えて「スーパーキッズ」を飯能につくったらどうだろうというのが事の始まりです。設立はH27年7月1日。「主たる目的」は、スポーツ才能を生かした児童・学生への高度な指導支援、世界で活躍出来る人材の育成、スポーツコミュニティとしての場の提供、環境の発展、各種スポーツ団体との交流。

まず「場」を作ろうという事でした。木下氏はサッカーくじ toto の立ち上げに関わっており、そのノウハウを知っているとの事で、是非こういうものをやってみたいという事でした。toto の助成は「3つ以上のスポーツをやっている団体」が基準。木下氏は東京のオフィスを撤収、稲荷町のマンションに自分の会社の本拠地を持って来て、そこにクラシック・バレエにも対応出来る床を張ったスタジオを作りました。また、サッカー事業ですが、「ボカジュニアーズ」というアルゼンチンチームの山本カルロス氏は、サッカー技術を教えるスクール「ボカ・ジャパン」の運営に携わっており、世田谷校、浦和校等、全国で600人の子ども達が通っています。

1年間の下積みの後に、飯能にサッカーグラウンドを作る計画です。toto では「8割」の助成金が出るので既に候補地の選択に入っています。自分達のグラウンドとクラブハウスを使い、飯能で活動するというのが会の趣旨です。カーテンの代わりに西川材を使った扉を付けるとそれも補助の対象になるとの事なので、地元の方にいろいろお願い出来る場面もあるかなと考えております。今は手狭です



が、クラブハウス近くにダンススタジオを作る事も出来るだろうと言っております。10月から来年9月の実績が評価の対象なので、実績を作り、自分達のグラウンドが出来るよう動いていきたい。

エルフェンの森氏とも先週の例会後お話をさせて頂き、選手の移動にボカバスを使って頂く等、協力出来るのではとお話しました。

理事の山本カルロス氏はFIFAのエージェント・ライセンスを持っています(日本に20人位しか居ません)。選手間の移籍の間に入る資格で、これを使って契約をし、違うクラブに移籍する事が可能になります。木下氏はインターネットでサッカーゲームを配信する会社を経営しており、南米や欧州のチームとライセンス契約をしているため、選手の名前等が使えたりします。飯能校のボカバスには選手の顔が貼られています。本国アルゼンチンでも選手の顔は「後ろ向き」だそうです。

サッカー等を習うために飯能に来る人が増えるだろうというのも狙いです。今は外部の指導者に来て頂いて、小学校では飯能ブルーダー、スポ少に入って活動。その後、地区の選抜チームに入ると他地区の人が良い選手を引っ張ってしまい、子どもが飯能から他の地区へ行ってしまうという現状があります。上を目指すと飯能以外の高校、クラブチームに移籍してしまう。それを何とかしたいというのがアカデミーの考え方です。飯能のチームに入って週末は試合。フォワード、キーパー、空中戦のメソッドは週の間スクールで練習すれば、他のチームとの関わりが無くなってきます。飯能に拠点が出来るとであれば中学生のジュニアユースクラブを創ろうという話も進んでいます。聖望にもサッカー部が出来るとの事。飯能で始まりから完結まで迎えられるというのが良いのではと思います。エージェント・ライセンスを持っているので18才になれば海外チームとの移籍も可能です。大リーグを目指す野球少年が居ると同じようにFIFAの海外クラブチームでプレーしたいという子どもも居ます。その子達の役に立てるのではと考えております。

ボカ・ジュニアーズがある飯能で練習したいという子、それを見守る親御さんが居ます。金・土・日には子ども達は合宿、親御さん達には泊まる施設も必要になって来ます。もっと言えば、飯能で暮らしたいという事にもなります。いろんな楽しみ方が出来ます。応援したい子どもが居る。身近な人を参加させる。育てに関われる。未来の飯能の、豊かな人材を育てられるという事です。

地元の皆様に育てて頂かないとなかなかうまくいきません。間邊会長にもお話したのですが、ユースチームが出来て、飯能で大会をやる時には「飯能RC」の冠を入れさせて頂き、「ロータリークラブのサッカー大会」という事も可能ではないかと思っております。ご指導ご協力を頂ければ幸いです。